



すくすく

謹賀新年

昨年は大変お世話になりました
本年もよろしくお祈り申し上げます



かねはら小児科 金原 洋治

新年おめでとうございます。今年も子どもたちにとって、ご家族にとっていい年になりますようにお祈りしております。

今年は、かねはら小児科にとっては大きな節目の年になります。現在建築中のクリニックと施設の建物が完成し、4月から新しいクリニックで診療を開始する予定です。また、現在のクリニックの後は、山の田耳鼻科クリニックが、おくぞの耳鼻科クリニックと名称を変更し診療される予定です。詳しくは、三月一日に発行予定の移転特別号の院内報で紹介させていただきます。

子ども・人を育てるには

村中の人が必要

おそらく時代を超えてどの社会でも、親だけでは子育ては出来ないことを示すアフリカの諺です。子育て中の親自身は、年を重ねても、乳幼児期・小学校時代・思春期その時々親としては新米の親です。その時々迷い試行錯誤を重ねながら子育てをしてゆくことになりま

人間同士ですので相性のよくない親子もいますし、障害や病気、個性の強さなどから育てにくいと感じる子もいます。このような子どもの子育ては心身共に負担が大きいのですが、昔であれば、祖父母や近所の人や親戚など、村の誰かが近くにおいて手を貸し、村の一員として成長を助けていたのだと思います。

戦前や戦後私が育った時代は、村の人間達が困った時なんでも相談を受ける長老がいました。交通機関も発達してないので、村の構成員の様々な問題を村の中で解決して行かなくてはならなかったでしょう。冠婚葬祭も村としての共同体を維持して行くのに必要だったのだと思います。今は、冠婚葬祭の多くを専門業者が行うようになり、共同体の役割も意義も少なくなってきました。私の祖父も長老のような存在の人だったらしく、よく色々な人が相談に家に訪れていました。また、私の祖母は、腹もみ婆さんだったようで、疳の虫が強い子などが、祖母におなかを揉んでもらうと良くなるということで、親子が時々我が家を訪れていたことを思い出します。子どもたち自身も子守役として小さな子どもを背中に背負って遊んでいました。子どもの数が減少し、子ども会の多くは消滅し、隣組としてお互いの



生活を支え合って来た自治会の機能も低下して来ています。昔のような地域の再生は望んでも困難ですが、車や通信機器が発達し移動や情報の流れが早く狭まっている現在、むしろそれを利用して狭い地域という概念から、幅広い地域と考えを変えてゆけば、新しい地域の創造が可能だと思っています。もし下関が百人の村だったら、どこに誰がいて、こんな問題は誰に相談したら何とかなるだろう。この問題は誰が解決してくれるだろうということがすぐに分かっていました。今は、そのような訳にはいきません。今の時代に合った新しい村の創造という視点から考えると、大切なことは二つあると思います。一つは様々な形や機能をもった相談や支援の場を作ること。もう一つは、それらの人達のネットワーク、親同士のネットワーク等を作り上げることだと思

います。今、下関市には様々なネットワークが立ち上がっています。『ママねっとわーく』や『子どもなんでもネットワーク』、『虐待防止ネットワーク』等です。私も村人の一員として、ネットワークの人達と力を合わせ、長老とまではいかなかった、せめて世話焼き爺さんの役割を担えるよう一層努力してゆきたいと思

金ちゃんのなんでも相談室便り

前回の院内報で、ホームページの掲示板を利用した育児相談のご紹介をさせて頂きましたが、その後、新しく書き込みに参加して頂く方が増加し大変うれしく思っています。子どもの心や体の相談、予防接種など診療システムに関するもの、外来では質問しにくいような内容などさまざまな御意見やご質問を書き込んで頂いています。「金ちゃんのなんでも相談室」くらいの軽いノリで参加して下さい。書き込み頂いた御意見や相談を2・3ご紹介させて頂きます。



血液検査で卵アレルギーと分かった場合、いつまで卵を食べられないんでしょうか？もうすぐ1歳の息子が卵アレルギーなんです、離乳食をずっと卵抜きにしています。その為、双子で生まれた娘も卵抜きメニューになっているので気になってしまって・・・。娘にはやっぱり卵をメニューにいれた方がいいのでしょうか。あと、卵なしで作れるケーキの本とかってあるのかな？ご存じの方教えて下さい。1歳の誕生日にケーキを食べさせてあげたいのです・・・。



卵を食べた時にどんな症状が出たのでしょうか？検査はいつ受けられましたか？検査でプラスに出たが症状が出なかったり、軽い症状の場合、検査から時間が経っていたら、1歳位になったら固ゆでの黄身を綿棒の先位の大きさから少しずつ試してみてください。アトピーがひどくなるようでしたら受診して下さいね。卵は安いし、メニューも豊富になるし卵が食べられるようになるといいですね。詳しくは、水曜日の午後2時～4時の間に栄養士が栄養相談をしていますのでお越し下さい。アトピーの子のための、食事の作り方の本も貸し出し致します。



昨日お昼に1度吐きましたが、元気だったのでそのまましておきました。熱冷ましていったん熱は引いたのですが、また何度も吐きました。『当番医に行くよりもかねはら先生に診てもらった方がいい』と主人は言うので明日行きます。もし悪くなるようでしたら夜間診療所にいこうと思います。



流行中のウイルス性胃腸炎の典型的な症状ですね。軽い子は2～3回吐いたら快復に向かいます。何度も吐いて点滴が必要な子は1～2割位で、多くは半日か一日で立ち直ります。急に始まり、急に治ってゆくものが大部分です。夜の9～10時頃まで様子を見て、嘔吐が続くようでしたら夜間診療所に受診されたらいいでしょう。吐き気が治まったら電解質が入ったイオン飲料を少量頻回に与えて下さい。明日まだ元気がなく水分が取れないようでしたら受診して下さい。先週から急に多くなって来ました。(潜伏期は2～3日です)

かねはら小児科HPアドレス
<http://members.at.infoseek.co.jp/kanehara2003/index.html>
かねはら小児科掲示板(携帯電話からもアクセス可能です)
<http://tcup7102.at.infoseek.co.jp/kanehara2003/bbs>

栄養相談のお知らせ

毎週水曜日の14時～16時の間に、栄養士の先生による栄養相談を行っています。離乳食の進め方やアレルギーの食事、肥満・やせの心配など、どんなことでもお気軽にご相談下さい。ご希望の方は受付まで！(担当:隅川・林)

金ちゃん先生の講演会のお知らせ

- 1月22日 気になる子どもの理解と支援
- 子どものストレスとメンタルヘルス -
名池小学校学校保健会
- 2月26日 障害を持った人達の地域支援
豊浦町介護保険講習会
- 3月4日 軽度発達障害児の理解と支援
熊野小学校職員研修会
- 講演会は木曜日の午後ですので休診ではありません。

編集後記

あけましておめでとうございます。21世紀を迎えた時『今世紀こそは戦争のない世界に・・・』と願ったはずなのに、未だに悲しみはなくなりません。せめて今年も皆さんが健康であります様に・・・



みかんちゃんの一口メモ

熱が出た時、厚着にしたらダメ？

熱が出る前は手足が冷たくガタガタと震える時は毛布などで包みますが、熱が出たら、薄着にして熱を逃がすようにしましょう。いつ迄も毛布などで包んでいると熱がこもってしまって熱は下がりません。皮膚がジっとりしている時は着せすぎです。子どもの背中にそっと手を入れてみて下さい。ジっとりしていませんか。お部屋の温度も暖めすぎないように、水分は少しずつ何度もあげて下さいね。

おすすめの本

『赤ちゃんのつぶやき』

著者 大塚昭二
発行所 赤ちゃんとママ社



何かを訴えたくても、まだオシャベリ出来ない赤ちゃんのつぶやき・本音を代弁してくれています。育児にちょっぴり不安を感じていたら(感じていなくても)是非お勧めです。耳を傾けてみませんか。きっと子育てが楽しくなりますから・・・。

待合室の文庫の中にあります。